

第393回臨時会

臨時会が8月6日に行われ、令和2年度一般会計の補正予算1件を全会一致で可決しました。

令和2年9月定例会

令和元年度決算など
36議案を可決

9月定例会(第394回)は8月31日開会、10月2日閉会の33日間の日程で行われました。提出された議案は条例改正5件、一般議案2件、令和2年度一般会計・特別会計・企業会計の補正予算6件、令和元年度一般会計・特別会計・企業会計の決算認定11件、人事案件5件、議員提出議案6件、委員会提出議案1件の計36議案および請願4件で、これらの議案は本会議・決算特別委員会・常任委員会で審議し、36議案を可決・認定または同意し、請願4件を採択しました。

一般質問は3日間行われ、9議員が登壇し、市政全般にわたる質問を行いました。

補正予算

補正予算については、一般会計で15億1583万円の増額補正を行い、増額後の一般会計予算総額は、383億1533万円となりました。主な事業費は、清掃施設整備事業に4億9580万円、全世帯対象のプレミアム付商品券発行事業に3億685万円、乳幼児インフルエンザ予防接種無料化事業に2353万円などとなっています。

一般質問 Q & A

議員の質問と、市長などの答弁をご紹介します(一部抜粋)。
掲載内容は議員から提出された原文を尊重して、編集しています。

●地域経済・税財源

公明党

阪本 忠幸 議員



Q 経済活動の活性化を

新型コロナウイルス感染症が拡大する中、本市はもちらん県・国においても、各種イベントの中止・自粛要請・時短営業や休業を求めた。一方で、特別定額給付金・持続化給付金・特別枠の保証協会融資など、さまざまな施策を実施して、これから、新型コロナウイルス感染症を正しく恐れ、上での、市内外を問わず経済活動を活性化していくことも必要ではないか。

A 経済との両立を図る

新型コロナウイルス感染症を封じ込めることができない現状を今の日常と認識し、感染対策の徹底をチラシやポスターを通じて見える化し、市民の安全を第一に考え、市内経済活動の好循環を図っていききたい。



三重県が作成している「感染防止対策中」の貼り紙

●心風会

心風会

幸松 孝太郎 議員



Q 市内事業者への支援

コロナ禍の影響により市内のあらゆる産業において極めて厳しい状況が懸念されている。飲食店やサービス業などの市内事業者への資金繰り支援の実績と、今後の経済対策ならびに失業対策などの市の考えを問う。



A 10月に相談所を設置

経営の安定に支障をきたした中小企業・小規模事業者が市の認定を受け信用保証協会から保証を受けるセーフティネット保証は、3月から8月末までで517件の認定を行い、うち認定件数の約8割である411件、約72億円の保証を実行した。10月から庁舎内に事業者のための相談所の開設を予定しており、今後も商工会議所と一体としてきめ細やかな対応をしていきたい。

●清風クラブ

清風クラブ

森岡 秀之 議員



Q 森林環境譲与税活用

国は森林の有する公益的機能を守るため、市町村が主体となり森林経営を行う新たな制度を令和元年度に創設した。財源として森林環境譲与税が市町村に交付されたが、本市ではこれをどのように活用しているかを問う。

A 意向調査を実施する

森林環境譲与税は、管理が行われていない森林について市町村が森林所有者の委託を受け、直接経営管理を実施する森林整備事業や木材利用の促進、普及啓発に活用する。令和元年度には説明会や所有者などへのアンケート調査を行い、名張市森林経営管理基本計画を作成した。本年度は森林経営管理制度を検討する地区の森林所有者への意向調査を12月頃実施する。



●地域環境・保健衛生

公明党

細矢 一宏 議員



Q ごみ減量化について

ごみの排出量は非常に低く抑えられている。これは市民が施策を理解し協力していただいているからである。令和3年2月にごみ袋の値下げを行うことにより、10単価とひと月当たりの負担額も近隣市と同程度となる。なお、特小袋は廃止となる。ごみの持続的な減量化を進めるためには、丁寧な説明の上で市民に協力をお願いすることが必要不可欠である。市の考えを問う。



A 説明責任を果たす

本市のごみの排出量は全国の市の中でも17番目に低く抑えられている。ごみ袋の値下げを行うにあたり、特小袋の廃止をはじめ施策面での説明とお願いは必要と考えている。今後もコロナ禍の状況を見極めつつ進める。

●自由クラブ

自由クラブ

柏元 三 議員

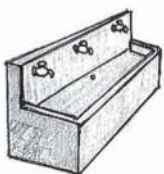


Q 学校に手洗場増設を

6月議会で、小中学校の校門と校舎の間に手洗いの増設を求めた。コロナ対策費約6億7千万円が国から分配され、今議会の補正予算に上程されたが、学校の手洗いの増設が計上されていない。市長が「手洗い以上に、うがいが必要」と考え、手洗いを軽視しているのが原因ではないのか。WHO・厚生省・文科省・医師会は新型コロナウイルス感染症予防のために、うがいを奨励していない。うがいの効果も認めていない。市長が「手洗い以上に、うがいが必要」とする科学的根拠を問う。

A うがいが必要

WHO元職員など、政府の複数の委員に尋ねたが「うがいが必要」と聞いている。



● 地域環境・保健衛生

自由クラブ

山下 登 議員



Q 公有財産の利活用を

公有財産の売却は、歳入を含めさまざまな観点から考慮するとやむを得ないところでもあるが、地元から要望のあった旧老人福祉センターについてあらためて利活用の方向性を問う。

A 協議・検討する

旧老人福祉センターは、老朽化が著しいことに加えて、現在の耐震基準を満たしていない。したがってその利活用は困難であると判断し、建物の解体を条件とした売却を予定していたが、当該地域の要望を受け、売却計画を2年間凍結してきた。活用方法については、地域で合意形成が図られた上で、ご提案があれば協議する。市としては一定の方向性を示していきたい。



旧老人福祉センター

● 教育・防災

無会派

三原 淳子 議員



Q 少人数学級の実現を

子ども達はコロナ禍でさまざまな不安とストレスを抱えている。新生活様式では3密(※)を避け、身体的距離をとることが求められている中、1学級20人程度が望ましいと考えるが、市内小中学校全204学級中、100学級が30人以上という実態である。休業中の学習の遅れや、制限された教育活動は教員の負担が大きいため、子ども達の心身のケアと、安心して学べる環境のため、少人数学級の実現を求む。

A 国・県に求めている

2学期の開始に合わせて、スクールサポートスタッフ23人、学習指導員21人を配置した。学びの保障と教員の働き方改革推進に加え、少人数学級の実現に向け、国の財政的支援を求めている。

※3密:「密接」「密集」「密閉」のこと。新型コロナウイルス感染拡大防止のために避けるよう求められる。

清風クラブ

常俊 朋子 議員



Q ICTの利活用

新型コロナウイルス感染症の影響でGIGAスクール構想の実現が早まり、一人一台タブレット端末の配備が整うこととなったが、ICTの利活用の進め方を問う。

A 授業以外でも活用

GIGAスクール構想による一人一台端末の配備が実現すると、授業では一斉学習・個別学習・協働学習といったそれぞれの場面でICTを有効に活用できる。授業以外の場面では、集会や儀式的行事で行う内容を各端末へ配信することで、全校生徒が集まらずに同時に共有することが可能となる。さらに災害や感染症発生時における長期の臨時休業時には、遠隔授業や家庭学習が行えるように準備を進めている。



喜働

足立 淑絵 議員



Q 緊急地震速報対応

地震への備えとして、他市や気象庁では1分間で実施できる「シェイクアウト訓練(※)」が実施されている。授業中に誤報の緊急地震速報が発令されてしまったようだが、日頃の訓練が大切である。学校現場ではどのように対応しているか。

A 状況把握し実施

地震で揺れがあった場合に備えて、県教育委員会の手引きやマニュアルに基づき適切な行動がとれるよう、普段から防災学習や避難訓練などを行っている。緊急地震速報が発令された場合には、校長や教頭が状況をしっかりと把握し、必要であれば、各教室にいる教師に連絡するといったことも必要と考える。

※シェイクアウト訓練: 2008年にアメリカで考案された「そのときいる場所」で地震が発生したと想定してとっさに身を守るという、地震の一斉防災訓練。

その他質問

公明党

吉佳 美智子 議員



Q 赤ちゃん応援給付金

新型コロナウイルス感染症拡大が心配される中、子育て世帯を応援する「赤ちゃん応援特別給付金」一人5万円が支給される。令和2年4月28日から同年12月31日までに生まれた赤ちゃんが対象だが、12月31日までとした理由を問う。

A 期限を定め支給

妊産婦が安心して出産、子育てができるよう子育て家庭の負担軽減が目的。今年度の国の地方創生臨時交付金を活用した事業で、出生届の提出から支給まで、来年3月末までに完了しなければならぬため、期限を年内と定めた。

Q & A

自由クラブ

木平 秀喜 議員



Q 財政調整基金目標額

財政調整基金(※)について決算年度末残高を示せ。市が目標とする令和4年度までの6億円の積立は可能であるのかを問う。

A 6億円の積立は可能

令和元年度末残高は、1億2388万2千円、令和2年度末残高は、1億3286万8千円となる見込みである。令和4年度までの目標についてはあと2年半の期間があり6億円の積立は不可能ではない。※財政調整基金:自治体が財源不足や緊急の支出が生じた場合に備えて「貯金」として積み立てる基金のこと。

名張市議会 News

会議の資料などを市議会ホームページで公開しています

議会の広報広聴のさらなる充実のため、次のとおり新たに名張市議会ホームページで公開していますので、ぜひご覧ください。

- ・会議の資料(令和2年8月から)
- ・やさしいことばで名張市議会をご紹介します
- ・委員会視察報告書(令和元年度分)
- ・会派視察研修報告書(令和元年度分、令和2年度分は随時更新)

